

学童期以降のこども若者に向けた アンケートの結果について (いけんひろば)

～小学校に入るまでを振り返って楽しかったこと、
もっと大人にして欲しかったことについて～

報告資料

目次

1. アンケート（いけんひろば※）の概要 p. 3

- テーマ
- アンケート方法
- アンケート期間
- アンケート送付人数
- 回答数

3. アンケート（いけんひろば）で集まった意見 p. 4

- 幼児期までの育ちを振り返って、楽しかったことは何か？
- 幼児期までの育ちを振り返って、もっと大人にしてほしかったことは何か、それはどんな時か？
 - 「こどもの権利と尊厳を守る」に関連する意見①～②
 - 「『安心と挑戦の循環』を通してこどものウェルビーイングを高める」に関連する意見①～②
 - 「『こどもの誕生日前』から切れ目なく育ちを支える」に関連する意見
 - 「保護者・養育者のウェルビーイングと成長を支える」に関連する意見
 - 「こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す」に関連する意見

※いけんひろばとは？…こども若者★いけんぷらすのメンバーが、各省庁やこども・若者が希望する様々なテーマについて意見交換することができる場です。対面、オンライン、Webアンケート、チャットなどで開催します。

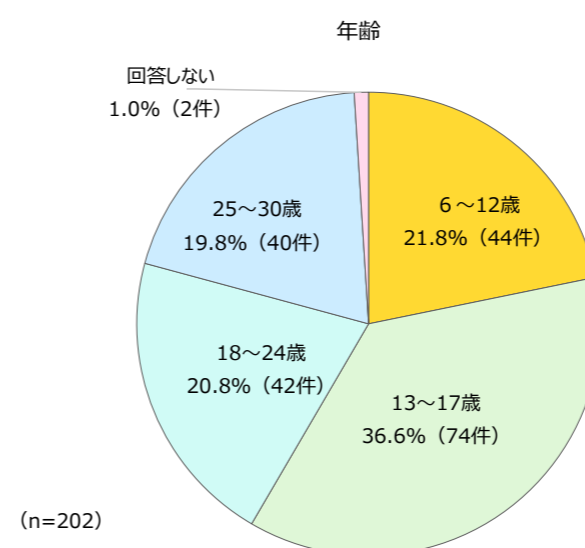
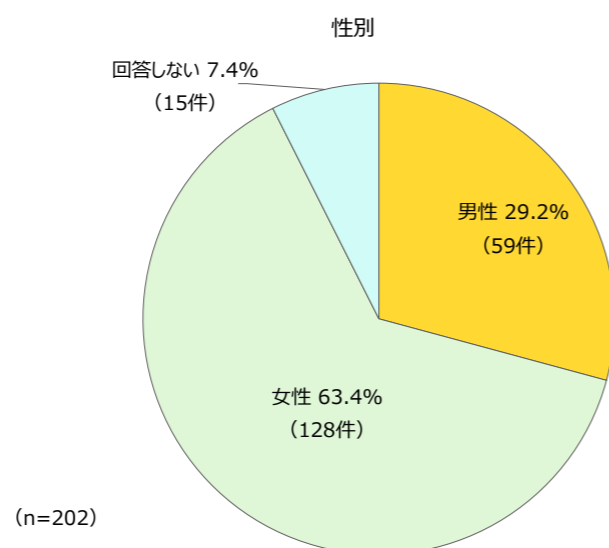
アンケート（いけんひろば）の概要

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 小学校に入るまでを振り返って楽しかったこと、もっと大人にして欲しかったことについて
アンケート方法	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート
アンケート期間	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年8月1日（火）～8月15日（火）
アンケート送付人数	<ul style="list-style-type: none"> 「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」登録者のうち、アンケート開始時点で年齢確認の手続きが完了していた方（533人）
回答数	<ul style="list-style-type: none"> 202件（回答率37.9%）

※いただいた回答は、「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的な指針（仮称）」中間整理に記載されている次の5つの観点からカテゴリ分けしています。

- ① こどもの権利と尊厳を守る
- ② 『安心と挑戦の循環』を通してこどものウェルビーイングを高める
- ③ 『こどもの誕生日前』から切れ目なく育ちを支える
- ④ 保護者・養育者のウェルビーイングと成長を支える
- ⑤ こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

アンケート回答者の性別・年齢



幼児期までの育ちを振り返って、楽しかったことは何か？

家族と過ごした時

★家族と旅行に行った時（15件、6～30歳）

- 家族旅行や幼稚園の行事で遠い場所に連れて行ってくれたこと。（25～30歳）
- お母さんとたくさん旅行したり、キャンプしたり、理科教室とか科学館とか博物館にいったこと。（6～12歳）
- 家族で毎年海に行ってた。普段、共働きの両親にはあまり遊んでもらえなかったから構ってもらえるのは嬉しかった。（13～17歳） など

★家族と遊んだ時（9件、6～30歳）

- 外遊び、プール、絵本読む、積み木などを姉妹3人で遊んでいる時間（25～30歳）
- 遊具で母と一緒に遊ぶとき。（25～30歳）
- パパが仕事休みの日に保育園休んで朝から公園でたくさん遊んだ時楽しかった。（6～12歳）
- 家族と、公園や近所の道路で遊んでいる時。（18～24歳） など

★家族で出かけた時、どこかに連れていってもらった時（10件、13～30歳）

- 家族と出かけること（近くの遊園地）（13～17歳）
- たまに兄弟とは別行動で母と2人で出かけたこと（25～30歳）
- 両親に色々なところに連れてってもらったこと（13～17歳）
- 家族や友達と色々なところに行ったとき。（13～17歳）
- 両親と父方の祖父母と一緒にくらしていました。土日は両親や祖父母と一緒に出かけるのが楽しかったです。海や川、科学館などたくさん場所に連れて行ってくれました。家族が楽しそうにしているのが楽しかったです。（25～30歳） など

★家族との日常（10件、13～30歳）

- 家族とみんなで一緒に過ごす時間。（25～30歳）
- 家族との日頃の会話（13～17歳）
- 家族とご飯を食べる時。（18～24歳）
- 夕飯の時にいつもお母さんと話したことも楽しい思い出。（13～17歳）
- 妹のお世話を少しお手伝いさせてもらったとき（18～24歳） など

★祖父母と過ごした時（10件、6～30歳）

- おばあちゃんちに行って遊んだこと（6～12歳）
- 祖父母の家にお泊まりに行く時。（18～24歳）
- 曾祖母と一緒に畑仕事をしたり遊んだりしたこと（13～17歳）
- 毎週末に祖父母と遊んだこと。その遊びの中に、ひらがなを学んだり、昆虫や魚、星などの図鑑を見たことがあります。他にも、祖父母は紡績工場を経営していたので、その仕事の様子を見るのも楽しかったです。（18～24歳） など



幼児期までの育ちを振り返って、楽しかったことは何か？

遊んだ時

★自由に遊んだり、沢山遊んだりした時（8件、13～30歳）

- 思い切り遊べたこと。（25～30歳）
- 好きなときに好きなだけ遊んだこと（18～24歳）
- どんなものにも追われることなく自由気ままに遊んでいたとき（13～17歳）
- 体を動かしたり、部屋で絵を描いたり、とにかくその時したいことをして、全力で遊ぶとき。初めてさせてもらうことも楽しかったけど、やりたいなと思っている、またはご褒美にお菓子がある等があった時のみ楽しめた。強制されるのではなく、色々な選択肢から選ばせてもらったことが、またそれを辞めるタイミングも選ばせてもらえることが、楽しさに繋がった。（18～24歳） など

★誰かと遊んだ時（30件、6～30歳）

- 友達と思いきり遊んだとき（13～17歳）
- 普段会えない親戚と遊んだこと（6～12歳）
- 親など、自分を可愛がってくれたり、自分が安心でき、遊び相手をしてくれる大人や、幼馴染などお互いよく知っている友達と遊んでいるとき（25～30歳）
- 友達と泥だんごを作っている時や鬼ごっこをしている時（13～17歳）
- 友達や先生と遊んでいるとき（13～17歳）
- 年中から幼稚園に入ったので、みんなが通ってる最初の1年間は幼馴染と遊びまくっていたので、楽しかった気がします（13～17歳） など

★一人遊んだ時（2件、6～24歳）

- 一人で遊ぶ時（18～24歳）
- 自分の好きなお人形で一人で自由に遊んだりしているとき（6～12歳）

★外で遊んだ時（28件、6～24歳）

- 砂遊びや泥遊び、木登りなど、野外で活動することが多く、虫取りもたくさんやっていた。（18～24歳）
- 外で遊んだ時間（13～17歳）
- 遊具がたくさんある公園で遊んだこと（13～17歳）
- アスレチックで遊んだこと（6～12歳）
- 泥団子をたくさん作ったこと。隠して次の日には壊れていて、また作ってを繰り返していた。（25～30歳）
- 田んぼでのザリガニ釣り（13～17歳）
- みんなで鬼ごっこしたりかくれんぼしたりしたこと（13～17歳）
- 散歩に行って花を摘んで花輪を作ったり、飴を食べたこと。（18～24歳）
- 砂場遊び（6～12歳） など

★絵を描いて遊んだ時（4件、6～24歳）

- 絵を描くことが楽しかったです。（6～12歳）
- お風呂でお風呂用のクレヨンでお絵描きしたこと（18～24歳） など



幼児期までの育ちを振り返って、楽しかったことは何か？

幼稚園や保育園で過ごした時

★幼稚園や保育園で遊んだ時（27件、6～30歳）

- 保育園で友達や先生と遊んでいたとき（18～24歳）
- 幼稚園で友達と遊んでいるとき（13～17歳）
- 幼稚園や保育園の園庭で楽しく遊んでいた時（13～17歳）
- 幼稚園で、外で鬼ごっこしていた時（6～12歳）
- 迎えに来てもらった後に母に見守られながら保育園で遊び続けていたとき（18～24歳）
- 幼稚園でクワガタとりをしたこと。（6～12歳）
- 冬に幼稚園で外でアイスクリンを作ったとき（18～24歳）
- 通園の時近くの子どもと団を組んで一緒に歩いたこと（25～30歳）
- 幼稚園の園内で木登りしたり、果物を取ったこと（25～30歳）
- 保育所で大縄跳びをしたとき。私のお気に入りの先生が、歌いながら大縄を回してくれた。皆でじゃなく、順番に一人ずつ跳ばせてくれたから楽しかった。（25～30歳）
- 保育園で友達と一緒に絵を描いたり、砂遊びしたり、友達と外にある遊具で遊んだり、友達おままごとセットのようなものでおままごとしたりしたとき。（6～12歳）
- 保育園で思い切り自由に遊んだ時が楽しかったです。砂場の砂を底まで全部掘り返した事、園の端から端までの長い紙輪の鎖を作って誉めてもらったことを今でも記憶しています。あとは遠足で山や海まで旅行に行ったことでしょうか。大人になって振り返ってみると、先生方に大変ご迷惑をおかけしたんだろうと思います。今は人手不足の園が多いので、昔より窮屈かもしれませんね。（25～30歳）

など



★幼稚園や保育園での授業や行事（15件、6～30歳）

- 僕は、生後3ヶ月から、保育園に行っていました。小学校入学するまでは、保育園の先生達との関わりが多かったです。楽しかった事は、年齢に関係なく赤ちゃんのお世話をしたり、たくさんの行事があった事が、今でも楽しい思い出になっています。（13～17歳）
- 幼稚園での読み聞かせの時間。（25～30歳）
- 保育園の昼寝時間（6～12歳）
- 保育園での特別授業とかが楽しかった。例えば、ゴルフとか、料理とか遠足とか。（13～17歳）
- 幼稚園のお泊まり会など、幼稚園の行事に参加していた時。（18～24歳）
- 幼稚園で人形劇をして褒めてもらった時。（25～30歳）
- 幼稚園の先生が手作りのクリスマスカードやケーキをくれたとき（家でそういうのはなかったから）（18～24歳）
- 児童館の年中組だったときのお遊戯会、バリ島の踊りを踊る役に指名され、センターで踊った。練習の時から手首を回す動きができていて褒められた。（25～30歳）
- お遊戯会のダンス練習、歌練習（13～17歳）

など

幼児期までの育ちを振り返って、楽しかったことは何か？

そのほかの意見

★どこかに出かけた時（10件、6～24歳）

- ・ お祭りに遊びに出かけたこと（18～24歳）
- ・ 駅や博物館に出かける時（13～17歳）
- ・ 電車やバスに乗るとき（13～17歳）
- ・ テーマパークや動物園または水族館に行く時（6～12歳）
- ・ たくさんの動物に触れ合ったり、自然の中で遊んだこと。乗り物に乗って出かけること。とにかくたくさん出掛けて色々な文化や建物や土地に触れたことは全部楽しかった。（25～30歳）
など

★年中行事やイベントの時（8件、6～24歳）

- ・ 正月にする羽子板（13～17歳）
- ・ 英語の塾でのハロウィンパーティー（13～17歳）
- ・ 花火大会や夏祭りも。有名なやつじゃないけど楽しみだった。（13～17歳）
- ・ チアの大会に出たのが楽しかった。（6～12歳）
など

★習いごとや勉強をした時（8件、6～30歳）

- ・ 勉強している時。（6～12歳）
- ・ いろんなものを見て新しい物事知るのが楽しかった（18～24歳）
- ・ 迷路やひらがな数字の練習をしたこと（13～17歳）
- ・ 習い事をしていたとき。（13～17歳）
- ・ 児童向けの科学雑誌などで知的好奇心を満たせたとき（25～30歳）
など

★何かを食べた時（6件、6～30歳）

- ・ 夏、夏バテ予防で梅干しを食べるとき（6～12歳）
- ・ 偏食だったので給食にきらいなものがなかったとき（回答しない）
- ・ おいしいものを食べたとき。（25～30歳）
など

★本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりした時（16件、13～30歳）

- ・ 本を読んでいるとき（18～24歳）
- ・ 家で寝る前にお母さんやお父さんに本を読んでもらっているとき（6～12歳）
- ・ 好きな本を読み聞かせてもらっていた時（18～24歳）
- ・ 読書をするのが好きで、いつも家の隅の日の当たるところで本を読んでいた。（25～30歳）
など

★動物と触れ合ったりした時（5件、6～30歳）

- ・ 祖母の家で飼っていた犬と遊んだ時間。（25～30歳）
- ・ 猫や犬、モルモットなどの動物と触れ合うことが楽しかった。（18～24歳）
- ・ カブトムシを飼ったこと。（6～12歳）
など

★何かができるようになった時（5件、6～24歳）

- ・ 出来ないことが出来るようになったとき。また、それに挑戦できる環境だったとき（13～17歳）
- ・ 失敗が許されていたこと…（18～24歳）
- ・ できなかったことができた時（6～12歳）
など

幼児期までの育ちを振り返って、もっと大人にして欲しかったことは何か、それはどんな時か？

「こどもの権利と尊厳を守る」に関連する意見①

★話を聞いて欲しかった、信じて欲しかった（13件、13～30歳）

- 自分を肯定して欲しかった。耳を傾けて欲しかった。当時4.5歳だった私が姉と喧嘩して泣いていると祖母は必ず眠いんじゃない？寝かしたら？と言っていました。そこで、私が違う！と言うと余計早く寝かせたと言われてた。（13～17歳）
- 自分が何か言った時、言葉でうまく伝えられなくても、自分の思っていることを勝手に想像して決めつけないでほしかった（13～17歳）
- つたないことばでも時間をかけてゆっくり気持ちや話を聞いてほしかった。習い事は何が嫌でどうすれば楽しくできるのか、話しながら解決したかった。無理やり連れていかれたり、サボって怒られるのがきつかった。子どもの思考で考えて、何が不安で何をしたいのか話を聞く時間が重要。（18～24歳）
- 褒めて欲しかった。自分の言うことを信じて欲しかった。自分の周りの大人は自分のことを褒めてくれなかったし、いじめられていたことを相談しても、何もしてくれなかったから。（18～24歳）
- 両親が喧嘩ばかりしていたため悩むことが多かったが、親戚たちも不仲だったり片方の親の話をしてはいけないと言う雰囲気があったため、1人で落ち込むことが多かった。相談というよりは吐き出す場所が欲しかった。両親が離婚した現在も悩むことが多いが、離婚してる家庭は少なくないため一括りにされて個人の話先生や友達に聞いてもらえないことがある。（13～17歳）
- 小学生だから大人よりも簡単に物事が解決するなんて思わないでほしかった。小5の時に同級生から嫌がらせをされていた。消しカス投げられるとか蹴られるとか。ある時、妹を侮辱されて先生に相談した。でも先生はその男子を連れてきて、謝らせて終わり。その後も嫌がらせは終わらなかった。小2の時の担任の先生に私は筆箱を捨てられた。他の子はチョークを投げられたり首を絞められたり。でも私達はどうしたらいいかわからないから大人に相談した。返答は「あの先生はそんなことしない」1年間、本当に怖かった。子供が相談するのは本当に辛い時なんです。大人に迷惑かけたくなくて、考えて悩んで苦しんで、言葉にするんです。聞いてください。馬鹿じゃないんです。何をされているのかもどうすれば誤魔化せるのかも知っているんです。あと「皆、友達」は嘘です。普通にカーストありますし、いじめだってあります。（13～17歳）
など

★尊重して欲しかった（15件、13～30歳）

- 何かを決めるときに自分の意見を尊重してほしい（18～24歳）
- 一人の人として、人格を尊重する気持ちを持って接して欲しかった。他の兄弟と自分との差別をできるだけ少なくしてほしい。（18～24歳）
- 性別によって態度を変えずにみんな平等に接してほしい（6～12歳）
- 一人の人間として扱い、気持ちに向き合ってほしい。子どもだからと適当に対応されたり、また泣いてるわとほっとかれたり、私が嬉しいと思ったことを一緒に喜んでくれなかったりしたのが嫌だった。（25～30歳）
- 可能な限り色々なことを実際に体験できたら良かったかもしれない。スポーツ、音楽、芸術、遊び…そしてそれらへの取り組みを評価するのではなく、ただ見守ったり認めてもらえたら、自己肯定感が高くなったかもしれない。褒めるのではなく、ただ存在を認めるというのが欲しかったのかな。（25～30歳）
- 新聞のインタビューに答えた時に、「（田植え体験をしてみて）泥が気持ち悪かった」と答えたら、掲載されなかった。そのことを親は「折角尋ねられたのに、勿体ない」と残念がった。体験の一部への感想として出た発言はネガティブでも、体験全体への最終的な感想はポジティブなものを得ていた。そのことを理解して欲しかったが、体験のことすらそっこのけで、新聞にのるかどうかでその日の出来事を「残念に終わった」と処理されるのはしばらく忘れられないくらいに悲しかった。こどもの自由な言動を、大人の目線で不用意に評価しないで欲しい。ネガティブな評価に関わらず、ポジティブな評価についても、指向的になるから避けて欲しい。評価したくなくてもこらえて、興味を持っての質問や、受容に留めて欲しい。（18～24歳）

など



幼児期までの育ちを振り返って、もっと大人にして欲しかったことは何か、それはどんな時か？

「こどもの権利と尊厳を守る」に関連する意見②

★怒らないで欲しかった・怒る理由を教えて欲しかった (9件、6～30歳)

- ・ イライラして怒らないで欲しい (6～12歳)
- ・ 叩いたり怒ったりせずに優しく諭してほしかった (18～24歳)
- ・ 叱られた時、話の長さや場の空気の重さによって、何について叱られているのか、今後どうしたらよいか分らなくなることがありました。何が望ましくない行動だったのか、今後どう改善するかを子ども自身が考え、臆せず伝えられるような叱り方(というか対応のしかた)をしてほしかった。(18～24歳)
- ・ 決めつけて怒らずに経緯やなぜその行動をしたのかを聞いてほしかった (18～24歳)

など

★いじめの対策をして欲しかった (3件、6～30歳)

- ・ いじめの対策 (6～12歳)
- ・ いじめを受けていたので心のサポートをもっとしてほしかった。(13～17歳)
- ・ 子供間でのいじめをなくしてほしい。(25～30歳)

など



★喧嘩をしたり、喧嘩に巻き込まれりしないで欲しかった (3件、13～24歳)

- ・ 夫婦喧嘩を子供に見せない、巻き込まない努力。(18～24歳)
- ・ ケンカしないでほしかった。(18～24歳)
- ・ けんかしないでほしかった。もっと一緒に遊んだり、どこかに行ったりしたかった。旅行じゃなくてもいいから皆で仲良く何かしたかった。(13～17歳)

★その他 (13件、6～30歳)

- ・ やたら外で遊ばせようとするのは嫌だった。(18～24歳)
- ・ 自分に合った園に入園させてほしかった。園のおしごとのシステムが自分には合っておらず、過ごしづらい幼児期だった (25～30歳)
- ・ 発達障害について気にかけること。(25～30歳)
- ・ 外出先で母と1つのお手洗いに入りますが、和式だと恥ずかしかったのと言えれば良かったのですがそういうものなのだと思うようにしていました。(13～17歳)
- ・ 趣旨とはずれるが小学校にあがってから今思えば性被害未遂にあっただけ、性教育 (水着で隠すところは安易に見せてはいけないなど) (25～30歳)
- ・ 家庭が温かいものだという教育はしないでほしかった。いろいろな形の家庭があることを認めてほしかった。愛されていないという感覚は間違っていると思ってしまう、孤独と不信感が強まったため。幼稚園の母の日・父の日の催し物や工作で感謝したくないのに「ありがとう」と書かされるのがしんどかった。無条件の愛がほしかった。私がどんな人間でも、理由なんかなく愛してほしかった。(25～30歳)

など

幼児期までの育ちを振り返って、もっと大人にして欲しかったことは何か、それはどんな時か？

「『安心と挑戦の循環』を通してこどものウェルビーイングを高める」に関連する意見①

★もっと家族と一緒にいたかった、構って欲しかった (16件、6～30歳)

- 保育園はとても楽しかったが、もう少し家族と過ごす時間がほしかった（18～24歳）
- もっと甘えられる存在がいたら良かったのかなと思います。2歳下に弟がおり、母も大変な思いをしながら過ごしていたと思うので、自分だけを見ている時間が今思うと不足しているように感じます。（18～24歳）
- お母さんが自分を構ってくれなくて寂しかったのでもっとかまってほしかった。（弟が生まれてずっと抱っこやお世話したり、これやってと私が言っても、『これが終わってからね』と後回しにされるが多かった）（6～12歳）
- もっと早く父母に仕事から帰ってきてほしかったです。（6～12歳）
- もっと、見て欲しかった。助けて欲しかった。必要な存在であると認めて欲しかった。（18～24歳）
- 末っ子である妹ばかりを親も親戚もかわいがって、おとなしい私の相手してくれる人がいなかった（25～30歳）

など



★もっと家族と一緒に遊びたかった（13件、6～30歳）

- 暇な時にもっと遊んで欲しかった（6～12歳）
- もっと遊びにつれていってもらいたかった（6～12歳）
- 保育園の時は、保育園と家の行き帰りばかりでパパとママと一緒に過ごせる時間がもっと欲しかった。幼稚園に行っていた友達はピアノやスイミングの習い事をしたり、家でお母さんと料理をしたりしてうらやましい。私が熱が出た時、ママが電話で頭を下げて会社に休みの連絡をしていて悪い事してるみたいだったけど、ずっと家で一緒に過ごせて嬉しかった。お金を稼ぐのが大事なのはわかるけど会社に行きたくない。もっとパパとママと遊びたい。（6～12歳）
- 大人にもっと遊んで欲しかった。ボール遊びとか、積み木とか。家の中でも遊んで欲しかった。ボールがもっと上手になっていたかったし、いま甘えん坊なのは構ってもらっていなかったからかも知れないと思うから。（6～12歳）
- もっと遊んで欲しかった。両親が昼寝をしてしまうと遊び相手がいなくなり、暇で退屈してしまうから（13～17歳）
- 週末だけではなくて平日にも一緒に遊んでほしかった（18～24歳）
- 私の父が単身赴任だったため、小さい時になかなか父と遊ぶ機会がなく寂しい思いをしました。父となった私は現在、1年間の育児休業をとり、できるだけ子どもが甘えられるよう努めています。（25～30歳）

など

★もっと外で遊びたかった（3件、6～30歳）

- 幼稚園での外遊び時間がもっと欲しかった。（6～12歳）
- 公園で遊びたかった。公園のルールが厳しくなりました。ボール禁止、遊具禁止と。子どもに外で遊んでほしいなら遊べる場所をください。（13～17歳）
- 遊具がたくさんある公園に行きたかった。車でそのような公園を見ると、小学生の時でも行きたいと感じていた。（13～17歳）

など

幼児期までの育ちを振り返って、もっと大人にして欲しかったことは何か、それはどんな時か？

『安心と挑戦の循環』を通してこどものウェルビーイングを高める』に関連する意見②

★もっと出かけたかった（6件、6～30歳）

- ・ 園外学習にいきたかった（6～12歳）
- ・ もっといろんなところに連れて行って欲しかった。遠足は水族館や植物園などの大体同じ場所ではなく、お城とか電車とか家族で行かないような場所や図鑑で見ていた本物を見せて欲しかった。（18～24歳）
- ・ 僕の家庭は、母子家庭ですが、母は僕達を三人育てる為に、昼も夜も働き生活を支えてくれました。大人にしてほしかった事は、特にないですが、家族で旅行に行ってみたかった。（13～17歳）
- ・ 小さい子が遊ぶ施設にもっと行きたかった。親はお金がかかると言っていたから時々行くだけでした。（13～17歳）

など

★もっと色々なことや、好きなことをやらせて欲しかった（11件、13～30歳）

- ・ やってみたいと言ったことをもっとやらせて欲しかった。お金(数百円レベル)や時間、危険性(女の子が空手は危ない等)を理由にやらせてもらえないことがあったが、今振り返って数百円レベルのお金を出せない家庭環境では無かったと思うし、一般的な範囲のスポーツには危険が付き物と思われる。（25～30歳）
- ・ 色々な体験をする機会があればよかった。特に、スポーツや芸術活動はやってみて初めて楽しさや才能がわかる物だと思うので、一度でも体験できる場所が必要だと思った。（18～24歳）
- ・ もっと美味しいもの、アイスとかソフトクリームとか買って欲しかった。もっと物を買ってもらいたかった。もっと本を読んでもらいたかった。秘密基地を作ってもらいたかった。旅行ももっといきたかった。ゲーム機を買ってもらいたかった。（6～12歳）
- ・ もう少し我儘とかではないけれど自分のやりたいことをやらせてくれたら良かったと思う。（13～17歳）

など

★勉強や習いごとをさせて欲しかった（17件、6～30歳）

- ・ 教育（6～12歳）
- ・ 鉛筆や箸の正しい持ち方、時計の読みかたを教えておいてほしかった（25～30歳）
- ・ 勉強を教えること（13～17歳）
- ・ もっと学習環境を整えてほしかった。経済的に仕方なかったが、他の同級生と比較してできる習い事が少ないと感じていた。（25～30歳）
- ・ 習い事をさせてほしかった。ピアノや習字、水泳など（13～17歳）
- ・ やりたい習い事をさせてくれたけどもっと何年も続けさせて欲しかった。（13～17歳）
- ・ 私は化学が好きなのですが、私の身の回りに化学の話を教えてくれたり話したりできるのがお父さんだけだったため、図鑑や本で知った化学の事を幼稚園の先生や友達と話せず、退屈だった。その時、大人は「幼児なんて化学はわからない」と思っていたかもしれないが、幼児でも好きな事や興味があることに対しては知識があることを理解してもらい、積極的に一人一人の長所を見つけ出してほしかった。（13～17歳）

など

★その他（14件、6～30歳）

- ・ 遊びの中に自分から入っていくことができない子で、どう声をかけていいかわからず立ちすくんで眺めるのは大学まで続きました。また、家庭環境が悪く人形遊びの内容が悲惨でした。しかし、発達が早くて手がからず、大人の期待に応えようとする子だったので、誰にも困っていることに気づいてもらえませんでした。大人びているから、問題を起こさないからと見過ごさず、幼稚園までにこれらのことに周りの大人が気づいて、やり方を教える、話を聞くなど介入してくれたら良かったと思います。（25～30歳）
- ・ 将来の夢を絵に描かせるなど、将来の夢を無理に考えさせるようにはしないこと。（25～30歳）
- ・ 集団行動で馴染めなくてもすぐに叱らないでほしい。（25～30歳）
- ・ 運動が苦手で、運動クラブに入れられたが余計運動が苦手になったので無理に強要しないこと（25～30歳）

など

幼児期までの育ちを振り返って、もっと大人にして欲しかったことは何か、それはどんな時か？

「『こどもの誕生日前』から切れ目なく育ちを支える」に関連する意見

★発達の連続性に留意（6件、6～17歳）

- ・ 特に3歳（年少）の頃保育所に行くのが辛かった。親と離れたくないこと、周囲の友達が喧嘩などで賑やかすぎることに、先生が厳しいことなど不安なことが多くあり、送迎時によく泣いていた。（13～17歳）
- ・ 小学校で、どんなことをしたり、生活をしているのか分からないから、いつも、どこで、何をしているのか分かるようにしてほしい。例えば、ふだんの学校生活の見学、ふだんの学校生活の動画、質問する機会など。（6～12歳）

「保護者・養育者のウェルビーイングと成長を支える」に関連する意見

★保護者・養育者への周囲の支え（10件、13～30歳）

- ・ 自分に対しては十分だったが、両親に対してはもう少しまわりからの理解や援助があれば良かったと思う。（13～17歳）
- ・ 両親は若く結婚・出産したため生活に余裕がなく、働いてばかりで家族が揃う時間が少なかったため、家族揃って楽しく過ごす時間がもっと欲しかった。自分が親になって、少子化というわりには昨今充実する気配がない公的機関による子どもを持つ家庭の支援（控除でも手当でも）、子育てへの社会からの理解、キャリアやお金の不安なく育休や時短勤務できる環境、せめてどれか整っていれば違ったのかなと思う。（25～30歳）

「こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す」に関連する意見

★経済的支援が欲しかった（7件、13～30歳）

- ・ うちはお金がなかったので、習い事ができなかった。他の家庭との差も感じていたので、挑戦できないことがすごく悔しかった。子どもはお金の心配をしなくてすむように格差をなくしてほしい。（18～24歳）
- ・ 経済的な理由で仕方ないけど、お稽古はどれも辞めたくなかった。家族旅行は小学校低学年までしか行けなかったから、もっと行ってみたいかった。子ども料金を大学生や院生までに引き上げてほしい（13～17歳）
- ・ 私は、小さいころから体で表現することが好きで、バレリーナになりたかった時期があったが、バレエをする為に準備するものや、発表会にかかる費用が高く、費用が払えずに仕方なくやめる事になった。私みたいに、自分のやりたいこと、なりたいたいものに経済的な理由で諦めなくていいように、何か経済的支援をしてほしかった。（13～17歳）

など

★その他（13件、13～30歳）

- ・ 年齢制限が厳しすぎる。みんなの施設だと思っていたのに、小中学生の為の施設だから幼児は使えないとかそういうのは違うと思う。（13～17歳）
- ・ 下の兄弟が小さい頃に、当時の年齢では納得できない理由で我慢しなくてはいけなかったことが多く、中学生に上がるまで引きずっていた時期がありました。今振り返ると自分には必要な時期だったと思いますが（親も子育てでいっぱいだったと思うので）、誰か第三者に頼れたり甘えられたらもうちょっと辛くなかったかなと思います。（18～24歳）

など